											(別添資料 1)					
事業所名		児童発達す				支援に	プログラ	ム	作成	:日	7 年	1 月	10 日			
:	法人(事業所)理念	私たちは子どもたち一人ひとりの主体性を尊重し、人との関わり・コミュニケーションを大事に『食べる・遊ぶ・学ぶ』楽しさを提供することで自尊心を高め、将来生きていく力を育みます。														
支援方針		【ひとりでできる】・・・チャレンジする力が成長へと繋がる 一人ひとりの好きなコト・興味のあるコト・得意なコトを活かし、【ひとりでできる】を増やし、達成感と自信を育て、チャレンジ欲の獲得を目指します。														
	営業時間	平日(月~金)	10	時	<mark>00</mark> 分から	19	時	00	分まで	送迎実施の有無	(b)	なし				
		土・長期休み	9	時	<mark>00</mark> 分から	17	時	00	分まで	是是 <b>人</b> 派••	w, /					
	支援内容															
本人支援	健康・生活	・来所時や送迎時の手洗いや検温など、常に体調面の確認を行い、共有します。 ・衣服の着脱、持ち物の整理など自身でできるようサポートします。 ・家庭や保育園、幼稚園と連携を図りながら、保清面や排泄面など基本的な技能を身につけられるようサポートします。 ・楽しみながら食事をし、身体の健康づくりを行います。														
	運動・感覚	・音楽リズム遊びや室内遊びなど粗大運動を設定し、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるようサポートします。 ・粘土や積み木、知育玩具を用いて微細運動や感覚遊びを行います。 ・散歩などの軽い運動を通して、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢運動・動作の改善及び習得を行います。 ・感覚の偏りに対する環境調整等のサポートを行います。														
	認知・行動	・絵本や紙芝居、室内装飾を楽しみながら季節を感じられるような遊びを行います。 ・ブロックやパズルなどを用いて数量、大小、色などの習得ができる遊びを行います。 ・タイマーを活用することで時間の概念の形成をサポートします。 ・視覚的アプローチを十分活用して必要な情報を収集し、認知機能の発達を促すサポートを行います。														
	言語コミュニケーション	・絵や絵カードを用いて環境の理解と意思の伝達ができるようにサポートします。 ・日直活動を通して、人前で話す機会を設定します。 ・帰りの会で活動の振り返りなどを自発的に発表できる場を設けます。 ・遊びや体験を通して、具体的な事物や体験と言葉の意味が結びつくようなサポートを行います。														
	人間関係 社会性	・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるようサポートします。 ・事業所スタッフとの関わりの中で人間関係や信頼関係の構築を図り、安心感を得られるようなサポートを行います。 ・大人を介在して、気持ちや情動の調整ができるようにサポートします。														
	家族支援	・連絡帳や電話、SNS ・関係者、関係機関と ・子育てサロン(保護	一ト体制を	本制を構築します。				移行支援	・就学に向けて保護者の意向や状況 ・保育園や幼稚園との連携を図り、 ・ライフステージの切り替えを見据		重携を図り、サホ	ナポート体制を構築します。				
;	地域支援・地域連携	・保育所や幼稚園、福祉サービス等と連絡、連携を取り合い情報共有をしていきます。							職員の質の向上	・年2回以上、外部講師による研修を受講し、子どもの特性に応じた 応など職員の資質向上に努めています。 ・日々の振り返りや定期的に内部研修、勉強会、合同ミーティングを 施しています。						
主な行事等		<ul><li>・季節に応じたイベント(節分、ひな祭り、お祭り、お楽しみ会など)</li><li>・食育プログラム</li></ul>														